令和6年度 自己評価結果公表シート

日知屋東幼稚園

1. 幼稚園の教育目標

○幼稚園の目標 子どもの「自立」と「共生」の心を育む ○上記目標達成のために 「健康な体」「豊かな心」「考える力」の育成に努める

2. 本年度に定めて重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した幼稚園評価の具体的な目標や計画

重点的に取り組むことを目標にした幼稚園評価の具体的な目標 1. 遊びを中心として子供たちが伸び伸びと活動する教育の充実に努める。 2. 規範意識や思考力の育ちなどに関する指導の充実に努める。 3. 幼児の家庭での生活経験に配慮した基本的な生活習慣の育成を図る。 4. 安心して安全な幼稚園を保障するための取り組みに努める。 5. 幼稚園と小学校との連携を推進する。 6. 地域交流、異世代交流、国際交流等豊かな体験活動の充実に努める。

3. 評価項目の達成及び取組状況

評価項目	結果	理由
(1)教育活動の充実	B	行事のねらいを明確にし、園児の活動を盛り上げることで、自信を持つ、日常の活動にも意欲的に取り組むようになるなど、様々な成長が見られた。
(2)道徳指導等の充実	B	園児の年齢/発達段階に応じた、相手を尊重した他者との関わり方を日常的に伝えることにより、年長児を中心に年下の子どもを思いやって手助けしたり、優しく関わろうとしたりする姿が随所に見られた。
(3)基本的な生活習慣	A	9:00からの集団活動の開始に備え、8:50までの登園を家庭に呼びかけたところ、遅刻等はほぼなくなり、園児が気持ちよく朝の活動に入ることが出来るようになってきている。
(4)安心して安全な幼稚園	B	避難訓練において、午後の時間帯の訓練、津波を想定した本善寺への徒歩避難など、マンネリ化しないよう、内容に様々な工夫を凝らした。火災および不審者対応の訓練も、警察署や消防本部と連携して行った。
(5)小学校との連携	A	年長児による小学校見学を再開したほか、地域の保育所・小学校とで年長児から1年生への幼小接続が円滑に進むよう、道徳指導の分野でアプローチカリキュラムの策定に取り組んだ。
(6)豊かな交流体験の充実	A	年中児が高齢者施設を訪問し交流活動を行った。その他、消防署を見学したり、日ごろお世話になっている地域の店舗へお礼状を渡したりと、園児が社会との関わりを意識できるような活動を行えた。

4. 幼稚園評価の具体的な目標や総合的な評価結果

結果	理由
B	保護者評価においてはおおむね良好な評価をいただいたが、教育・保育の質の向上の面からは、まだ伸びしろがあると実感している。現在、本園は子ども主体への教育・保育をより推し進めるため、教員の意識のより細やかなすり合わせが必要な局面を迎えている。これまで本園が大切にしてきた「ひたむき・がまんづよい・しんせつ」という育てたい子ども像を保ちながら、教育の質を高められるよう、努力したい。

◎「3、4」の評価結果の表示方法

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取り組まれているが成果が十分でない
D	取組が不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取組方法
(1)教育活動の充実	今後は、子ども達が日々遊びこむ姿から教師が育ちの種を見つけ、より豊かな遊びと学びに誘う子ども主体の保育を追求していきたい。
(2)道徳指導等の充実	同学年間の子ども間で、相手の気持ちを思いやりながらコミュニケーションできるように、より一層の教師からの働きかけが必要である。
(3)基本的な生活習慣	スマートフォン等メディアとの関わり方について家庭への一層の啓発が必要である。また、はじめて子育てする世帯へ、発達に応じた離乳食の作り方や適切な睡眠時間、感染症への対応等、基礎的な情報提供を強化していきたい。
(4)安心して安全な幼稚園	環境整備に園の職員全員で取り組むよう、より一層の共通認識を持つことが必要である。
(5)小学校との連携	アプローチカリキュラムにおいて、未策定の分野が存在するので、次年度以降も段階的な協議・策定を継続したい。
(6)豊かな交流体験の充実	中学校の職業体験も受け入れ予定であったが、台風により実施に至らなかったため、次年度は実現を期待したい。